

『きもちいなあ』

2歳児 11月



エピソード

園庭に並んでいるタイヤで数人の子どもが遊んでいました。そこにA児がやってきて、タイヤを跨いで腰かけます。その場にいたB児も同じようにA児の隣に座ると、A児は表情を緩めて「きもちいなあ」と言ひ、B児は嬉しそうに笑いました。保育者が「気持ちよさそうだね。何してるの?」と聞くと、A児は少しB児の方に寄り、「ここには行ってくださーい!」と空いている場所に手を差し出します。保育者がA児とB児の間に入り、「うわあ〜、ほんと、気持ちいいね」と言うと、A児とB児は「へへ」とさらに嬉しそうに笑いました。A児は何度か「きもちいなあ」と保育者とやりとりした後、一瞬じっと一点を見つめ、保育者の方に視線を向けて「お風呂」と言いました。保育者が「お風呂に入っていたんだね。あったかくて気持ちいいわ」とお湯を腕にかけるような動作をすると、A児は腕をゴシゴシさすって保育者の方を見ます。保育者も同じように腕をこすり、「ゴシゴシ、シュッシュ」と動作を言葉にすると、A児とB児も「ゴシゴシ」「ゴシゴシ、シュッシュ」と声に出しながら腕や足をさすっていきます。少しして、A児は保育者の方を見て「あたまも」と言ひ両手で頭を洗う仕草をしたり、頭に手を置いて「ザブーン」と言ったりしました。それを見たB児は、言葉や動作を同じようにして遊んでいました。

保育者の思い

「きもちいい」ということは、お風呂やプールに入っているイメージなのかな?A児、B児が何を思っているのか知りたいな。

楽しいと感じていることに共感して、A児とB児のイメージや思いに寄り添いたいな。

お風呂だったんだ。お風呂というイメージを膨らませて、遊びをより楽しんでほしいな。

体を洗っているのかな?お部屋でよく見ている『もりのお風呂』の絵本と同じフレーズで動作を言葉にしてみよう。

A児:頭を洗ったりお湯をかけたりしている。普段の生活と結び付けたり絵本の内容を思い出したりしながら、お風呂に入っているつもりになって遊ぶことを楽しんでいるのかな?

B児:A児の言葉や動作をまねている。A児や保育者と同じ場で、同じように遊ぶことを楽しんでいるのかな?

子どもの育ちや学び

- ・周りの友達への興味が広がってきて、友達と同じ場で、同じように遊ぶことを楽しんでいる。
- ・自分なりにイメージしたことを、保育者や友達に言葉で伝えようとしている。
- ・普段の生活と結び付けたり、お部屋でよく見ている『もりのお風呂』の絵本の内容を思い出したりしながら、お風呂に入っているつもりになって遊ぶことを楽しんでいる。

家庭だったら・・・

普段の生活の中で、お風呂で体を洗ってもらったり、「きもちいいね」「あったかいね」というお家の方の言葉を聞いたり、やりとりしたりした経験が遊びに表れているのだと思います。言葉の発達が著しいこの時期、お家でほっと一息つける時には、ぜひ子どもとのやりとりを楽しんでみて下さいね。